

科目名	人間と倫理 Introduction to Ethics						
科目担当者	洪山 昌雄 SHIBUYAMA Masao						
単位数	2	配当年次	1年	授業形態	講義	開講学期	後期
履修学部・学科 [区分]	法学部・法律学科 [総合教育科目 人間形成] 経営学部・経営学科 [総合教育科目 人間形成]					ディプロマポリシーとの関連	(1)(2)
授業の概要	功利主義、義務論、正義論、リベラリズム、共同体主義等の基本的考え方を学び、これらの倫理学理論を自らの生活と結び付けて考えることを目指す。また応用倫理学の中の企業倫理・ビジネス倫理を取り上げ法律との関連で考察する。						
授業の到達目標	①倫理学の基本的考え方を理解する。 ②倫理学が直面してきた諸問題を理解し、自ら問題解決のための手段・方法を探る。 ③授業毎のまとめ・質問・発表によって、自分の意見を論理的に伝えることを目指す。						
授業計画・内容	1	オリエンテーション					
	2	技術批判 チャップリン、ボルノー、ハイデガーの技術批判					
	3	倫理学理論 1 進化倫理学と長期エゴイズム					
	4	倫理学理論 2 功利主義の思想 ベンサム、ミルの思想					
	5	倫理学理論 3 功利主義の思想に対する批判 トロッコ問題とフォードピント事件					
	6	倫理学理論 4 義務倫理の思想 カント倫理学					
	7	倫理学理論 5 徳倫理の思想					
	8	倫理学理論 6 ロールズの正義論					
	9	倫理学理論 7 リバタリアニズムと文化多元主義					
	10	倫理学理論 8 センのケイパビリティとサンデルの共同体主義					
	11	企業倫理とビジネス倫理 1 CSR、コンプライアンス等					
	12	企業倫理とビジネス倫理 2 内部告発と公益通報者保護法					
	13	企業倫理とビジネス倫理 3 個人情報法保護法とマイナンバー法					
	14	企業倫理とビジネス倫理 4 男女雇用機会均等法、不正競争防止法、製造物責任法等					
	15	まとめ					
授業外学修 (事前学修)	毎回前もって授業内容をムードルに貼り出すので予習をし、専門用語の意味はあらかじめ調べておく (毎週 2 時間程度)。						
授業外学修 (事後学修)	毎回授業後に課せられた質問・課題を提出し、授業内容の要点を整理しておく (毎週 2 時間程度)。						
成績評価方法・ 評価比率・到達 目標との対応	成績評価方法				評価比率		到達目標との対応
	授業毎の課題 定期試験				30% 70%		③ ①②
成績評価基準	秀：(評点 90 点以上) 到達目標を極めて高い水準で達成している場合 優：(評点 80 点～89 点) 到達目標を高い水準で達成している場合 良：(評点 70 点～79 点) 到達目標を一定の水準で達成している場合 可：(評点 60 点～69 点) 到達目標を最低限の水準で達成している場合 不可：(評点 60 点未満) 到達目標に達していない場合						
教科書	適宜、資料を配布する。						
参考文献	授業中に適時紹介する。						
その他							